

東尾張病院 地域連絡会議 議事概要

1. 日 時 令和6年2月28日（水） 15：00～15：55
2. 会 場 東尾張病院 デイケア棟2階 視聴覚室
3. 出席者 地域住民代表委員9名（4名欠席）、関係機関委員8名（3名欠席）、
院内委員6名、書記1名
4. 概 要
 - ① 院長開会挨拶
 - ② 司法精神医学部長から「医療観察法の仕組み等の説明」及び「対象者の入院状況等」
について、配付資料に基づき説明
 - ③ 事務部長から「病院緊急時の連絡体制」について、配付資料に基づき説明
 - ④ 看護師長から「無断退去対応訓練の結果報告等」について、配付資料に基づき説明
 - ⑤ 質疑応答
 - ⑥ 院長閉会挨拶

【質疑応答】

警 察： 無断退去について、患者はどこどこへ行きたいといった意思をもって退去するか、認知症の方のように積極的な意思がなく行ってしまうのかどちらか。

病 院： 医療観察法病棟に入院している方が外出する場合だが、入院から3ヶ月は基本的に病棟から出ずに過ごしてもらう。その方の病状の安定や医療の受け入れ具合を評価して可能と判断された場合にスタッフ付き添いで院内散歩する。院内散歩を何回か繰り返し安全に行動できることが確認できた場合に院外外出へ進む。

明らかに認知機能が落ちているとか、どこへ行ってしまうか分からないような方は、そもそも院内散歩に出ることはない。想定しているのは一定の情動の安定があつて医療者とコミュニケーションが取れる方である。その方がどうしても行きたいところがある、近くに家族がいてどうしても会いたいとかいった気持ちが高まり衝動的に医療者から離れて出て行こうとしてしまう状況を想定している。個々の対象者について、この人が離院したらどこに行きそうかということも想定の上で外出計画を立てている。

警 察： 訓練をしたり計画を策定するということは、無断退去もあり得るということが前提だと思われる。無断退去したことを想定して靴にGPSを付けておくとか名前を書いておくとかの措置は執っているのか。

病 院： 全国的にはそういった試みはあると聞いている。GPSなど靴に入れてあるものなどは外されてしまったら分からないということもある。体に固定できるタイプのものだと、恐らく国を巻き込んだレベルの運用変更であるとか法律上の問題もある

【機密性 1 完全性 1 可用性 1】

かと思われるので当院では実施できていない。

委員 1： この区域以外では自由に入出入りできるのか。敷地外に出れるのか。

病 院： 院内外出とは医療観察法病棟の高いフェンスで囲まれたエリアの外の病院の敷地内に出る。当院の敷地の周辺というのは外来を含めた一般の患者も入るエリアであるのでフェンスはあるが、有刺鉄線だとか乗り越えられないような仕組みはない。なので院内外出には必ず 1 人若しくは 2 人以上で付き添う。それでもリスクがある場合は、まだ院内外出は早いという判断になる。

委員 1： 以前、無断退去事件があったが、その際は外に出てしまったと思うが。

病 院： 2017 年の無断退去は医療観察法病棟ではなく一般病棟で精神鑑定の方が無断退去しているのが、一番大きく違う点である。その際は 2 階の病棟から窓を破壊して雨樋とか木を伝って降りて木々の中を抜けて逃げたと聞いている。以降は窓の構造の見直しだとか周辺の木々の伐採をし病棟からも見通しを良くしたといった対処をしている。院内的にも鑑定のための入院は一般の患者と比べて配慮が必要なため、入る病室をより嚴重な病室のみに限るなどの運用変更をしている。

委員 2： 患者が無断退去をした場合、どこまで追跡するのか。保護するまで追跡するのか。

病 院： 警察の協力を得ながら原則保護するまで行う。

委員 2： 患者の身分上はどうなるのか。刑期とかはなく患者として入院しているということか。

病 院： 病人ではある。刑期はない。ただし身柄は法律で必ず病院の中に留めおかれることが求められている。法律に基づいて保護される形になる。

委員 2： 全国的に逃げ切られてしまった事例はあるのか。

病 院： 一番新しい事案が東京都内の病院から退院直前の最後の外泊の段階で、どうしても出て行きたくなったということでスタッフの保護下から離れたということが最近起こった。

当院で言えば外出される方の体格であるとか体力、性別も勘案して何名付き添うかとか、院内外出を何回か行ったが院外に出て行くのはもう少し様子を見ようだとか色々調整をして事故防止に務めている。

警 察： 今、警察という話が出たので確認しておきたい。我々警察が活動するには法的根拠が必要である。医療観察法の中で患者が無断退去した場合に警察は探すことができるだとか探さなければならないといった条文があれば別であるが、恐らくない。

そうした場合に我々は正式な届け出を受けて探索をすることになる。人海戦術で探すのもあるし警察犬で探す場合もある。その際に写真を用意してもらったり、足下の匂いなど触らない形でビニール袋に入れて用意してもらうだとかを、なるべく素早く行いたい。今回の訓練にこういったことも入れてもらっても良いのではないかな。

【機密性1 完全性1 可用性1】

服装は皆揃いの制服みたいなパジャマのような服装で院内で過ごしているのか。

病 院： 私服である。

警 察： その時々によって違う訳ですね。

病 院： 補足させてもらおうと院外のみならず院内外出の際にも計画書を作成し、対象者の顔写真、当日の服装なども記載するようにしている。

最近、離院は発生していないが、離院が発生した際には速やかに警察に提供できるようにし、必要な場合は速やかに捜索願を出すことにする。

写真と身なりについては提出できる段取りがあるが、警察犬での捜索に役立つ匂いのするものの提供は可能かどうか検討したい。

委員3： 無断退去した場合、一番最初は木の周りに隠れたりとかされると見つけにくいと思われる。そういった場合にやはり見通しを良くしてもらいたい。

病院の境界のところの草が段々伸びてきており、その都度お願いしているが、鬱蒼と茂ってしまうと心配なので、お願いしたい。

病 院： 医療観察法だけの話ではなく、境界の草がご迷惑をおかけしていて申し訳ございません。担当の者に状況確認させていただくので、気付いたことがあれば連絡ください。

以上